

ホタテガイ採苗速報

稚貝採取は2分では西湾で7月末、東湾で8月上旬からできる見込み

1 ホタテガイの付着状況

6月26日～7月3日に行った第2回全湾付着稚貝調査結果は図1～3および表1、2のとおりで、ホタテガイ稚貝の平均付着数は、間引きをしないものでは西湾で115,610個/袋と過去10年の平均値(平年値)114,684個/袋とほぼ同じ、東湾で379,599個/袋と平年値325,674個/袋よりやや多くなっています。また、間引き後の平均付着数は、西湾で37,467個/袋、東湾で20,530個/袋でした。

稚貝の平均殻長(間引きなし)は、西湾で2.19mm、東湾で1.61mmとそれぞれの平年値2.36mm、1.50mmとほぼ同じになっています。また、間引き後の平均殻長は、西湾で2.29mm、東湾で1.95mmと、いずれも間引きをしないものより大きいサイズとなっています。

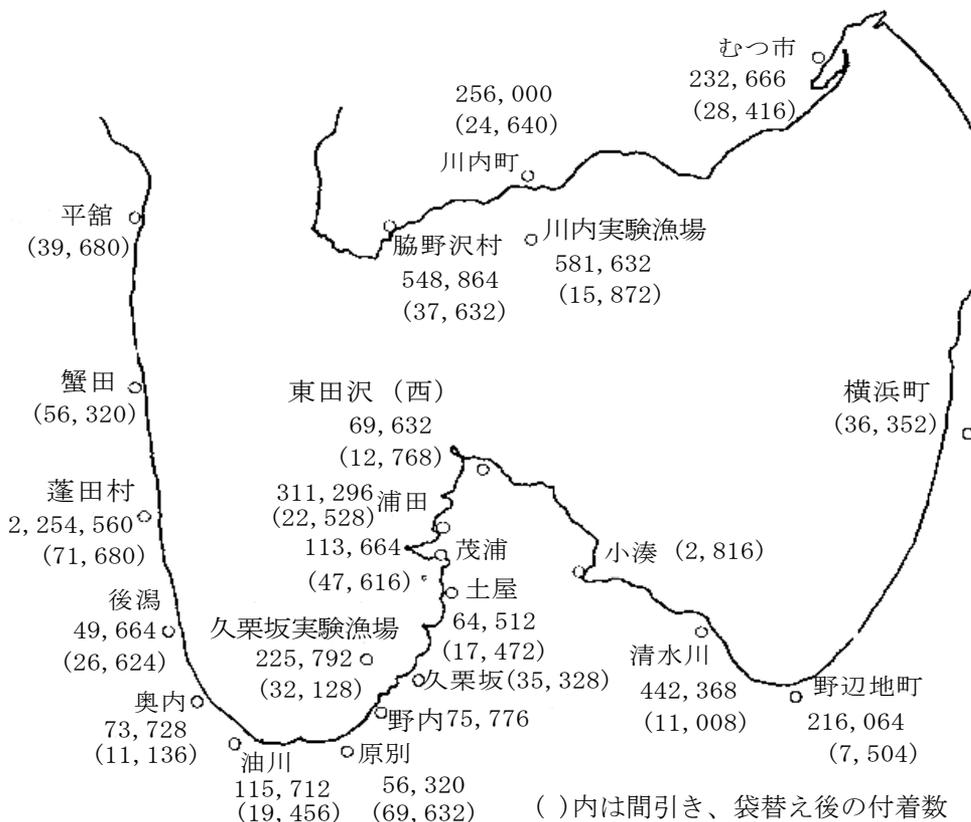


図1 調査地点毎の付着数 [単位: 個/袋] ()内は間引き、袋替え後の付着数

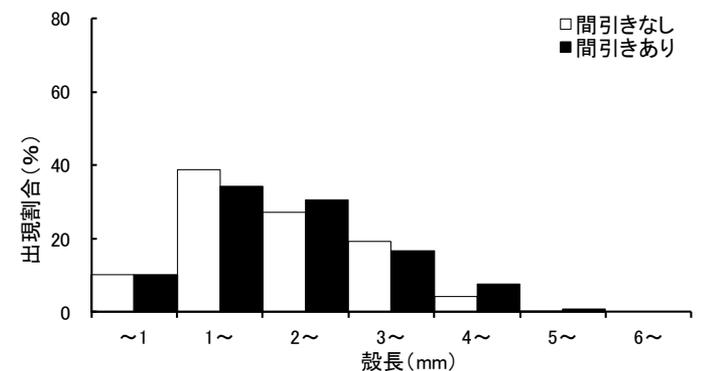


図2 ホタテガイの殻長組成 (西湾平均)

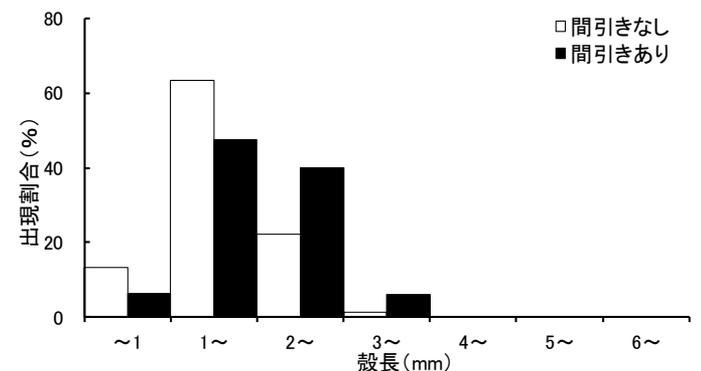


図3 ホタテガイの殻長組成 (東湾平均)

2 キヌマトイガイ・ムラサキイガイ等の付着状況

キヌマトイガイの付着数(間引きなし)は、全湾平均で41,262個/袋と平年値138,463個/袋よりかなり少なく、ムラサキイガイでは76,076個/袋と平年値88,446個/袋よりやや少なくなっています。なお、間引き後の採苗器の中にウミセミとトゲクリガニの稚ガニが見られた地区がありましたが、ヒトデの付着は見られませんでした。

3 水温の状況

各ブイの6月27日～7月3日の週別平均水温は、表3のとおりです。15m層の6月第6半旬平均水温は、平舘ブイ、青森ブイ、東湾ブイの全ブイでやや高めとなっています。

4 今後の見込み

付着数が多いと稚貝の成長が悪くなり、稚貝採取の開始が遅れ、高水温やヤマセの速い潮の影響を受けやすくなるので、速やかに間引きを完了してください。

適正な付着数に間引いた採苗器については、1分5厘のネットに稚貝採取する場合は西湾、東湾ともに7月下旬から、2分の場合は西湾で7月末、東湾で8月上旬からできる見込みです。

なお、7月16日に第2回臨時付着稚貝調査(間引き後の中層1袋)を実施し、稚貝採取の詳細な時期については7月19日に発行予定のホタテガイ採苗速報第12号に掲載しますので、参考にしてください。

